

平成 30 年度 第 1 回 諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議 会議録

○ 日 時

平成 30 年 11 月 12 日（月）午前 9 時～10 時 30 分

○ 会 場

諏訪市役所 201 会議室

○ 出席者

<本部長>

金子市長

<副本部長>

平林副市長、小島教育長

<本部員>

宮坂総務部長、木島企画部長、花岡市民部長、関健康福祉部長、大館経済部長、
小松建設部長、土田教育次長、前澤議会事務局長

<幹事>

松木総務課長、池上秘書広報課長、前田企画政策課長、茅野財政課長、
柿澤地域戦略・男女共同参画課長、守屋こども課長、金子商工課長、細野観光課長、
金子都市計画課長、寺島教育総務課長

<事務局>

中澤企画政策係長、牛山企画政策係主査、西澤企画政策係主事

○ 会議結果

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果、諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂（案）について承認を受けた。

○ 会議概要

1 開会

（木島企画部長）

- ・第 1 回諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議を開催する。
- ・会議開催に先立ち、本部長である金子市長より挨拶をいただく。

2 本部長挨拶

（金子市長）

- ・平成 30 年度第 1 回の「まち・ひと・しごと創生本部会議」を開催する。平成 27 年 12 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してから 4 年目を迎えている。各部局において、総合戦略に基づき地方創生に向けた様々な取組を展開している。
- ・総合戦略には KPI（重要業績評価指標）を設定しており、施策の進行管理、効果検証を行

- うこととしている。本日の会議では、各部局が提出した総合戦略の効果検証結果を確認、調整させていただく。その上で、11月28日に開催する「まち・ひと・しごと創生有識者会議」において、外部有識者の皆さんから効果検証にあたりご意見を伺う予定である。
- ・今後の諏訪市の地方創生の推進にあたり、それぞれの視点から積極的なご意見をいただきたい。

3 議事

(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果について

(本部長)

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、「①効果検証手順」について、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.1に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

(本部長)

- ・続いて、「②「数値目標」・「重要業績評価指標（KPI）達成状況一覧」」について、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.2に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

(本部長)

- ・続いて、「③総合戦略効果検証結果（案）」について、事務局より柱ごとに説明する。

(事務局)

※資料No.3に基づき、一之柱の効果検証について説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(本部長)

- ・p6 総合分析について、2か所修正をお願いしたい。
- ・「インターンシップ受入人数」に関する記載について、すでに平成29年度から大学生の受入促進に取り組んでいるため、「今後は」という表現を削除してほしい。
- ・「大学と市内企業とのマッチング件数」について、「諏訪東京理科大学地域コンソーシアム」は平成29年度に発展的解散をされている。今後のストーリーがまだ見えてきていないの

で削除してほしい。

(本部長)

- ・「今後は」は、削除する。
- ・諏訪東京理科大学は残すが、地域コンソーシアムは削除し、「諏訪東京理科大学や信州大学との連携による～」に修正する。

(本部長)

- ・続いて、二之柱について、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.3に基づき、二之柱の効果検証について説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(本部長)

- ・p25 交流人口の記載について、「いずれも「概ね順調」となり目標値を下回った」、順調なのに下回ったという表現がおかしいのではないか。下回ったが順調となったと言う方が意味が通る。

(事務局)

- ・交流人口に関しては、p29 に記載している。達成度の目安として、「概ね順調」は 80%以上 100%未満としている。目標値を下回ったが「概ね順調」となったということ。表現については調整したい。

(本部長)

- ・「概ね順調」とはなっているが、目標値は下回ったということによろしいか。適切な表現に修正してほしい。

(本部長)

- ・続いて、三之柱について、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.3に基づき、三之柱の効果検証について説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・グラフのマーカーが見づらいので修正してほしい。

(本部長)

- ・続いて、四之柱について、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.3に基づき、四之柱の効果検証について説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・「博物館入館者数」は、達成率は 80%に達していないが、平均入館者数は例年並みということで「概ね順調」となっているが、「目標値」はもともと例年並みを目標としているのか。

(事務局)

- ・徐々に増加させる目標である。平成 26 年基準値が 16,901 人であり、平成 31 年度の目標値は 18,000 人としている。
- ・担当課では、5 か月間工事休館していたということと、平均入館者数は例年並みであったということ踏まえ、「概ね順調」という評価をした。
- ・達成度はあくまで目安であり、いろいろな要因を加味して評価をしてもらっている。

(本部長)

- ・「(2) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂(案)について」、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.4 に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
(意見等なし)

(本部長)

- ・全体を通して、質問・意見等あったら出していただきたい。

(本部長)

- ・p31「ふるさと寄附件数」について、目標値は 1,000 件となっているが、実績値が毎年大きく上回っている。予算編成会議でも、今後財源を確保する上で、ふるさと寄附やクラウドファンディングを積極的に取り組んでいくと方針が出された。
- ・実績値が大きく上回っている中で、目標値 1,000 件のままでいいのか、上げた方がいいのではないかと。

(本部長)

- ・ふるさと寄附の関係だが、平成 29 年度から総務省による指導が入っている。平成 30 年度では地場産品に限るといったさらに厳しい指導が来た。
- ・そのため、今の主力であるアウトドア関係の返礼品も今年度いっぱい終了する。そうになると、通年で提供できる返礼品がほぼなくなる。
- ・返礼品の開拓をしているが、ここで KPI の目標値を上げるのは厳しい状況である。できれば、来年度以降の状況を見て件数を伸ばすことができれば修正したいが、今回は国の動向を見ながら少し様子を見たい。

(本部長)

- ・今年度は、現状で何件の実績なのか。

(本部長)

・10月末で、約800件、3,000万円程度。

(本部長)

- ・件数もだが、金額のほうが重要だと思っている。金額は減ってきているが、件数は順調に伸びてきている。
- ・体験型等、新たな返礼品を開拓しているが、ここで総務省の指導が入り、来年度また見直す必要がある。指導が入り、制度自体が定まらない状況なので、様子を見させてほしい。

(本部長)

- ・安定しない制度であり、見込が読めなかったということで、毎年1,000件となっていると思うが、1,500件くらいに上げられないか。
- ・総務省の指導には従わざるを得ないので、金額はどうしても落ちる。件数としては、伸ばす努力ができるのではないか。
- ・目標値は、簡単に達成できるものではなく、ちょっと背伸びして届くところに設定しないと目標とは言えない。結果を出せない上、よくなっていかない。検討してほしい。

(本部長)

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、「(2) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂(案)について」、いただいた意見等に対して再度調整、修正を行った上で、11月28日開催の「まち・ひと・しごと創生有識者会議」の議題として、外部有識者の意見を伺いたい、承認をいただきたい。

(異議なしの声)

(本部長)

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び改訂(案)について承認いただいた。

4 その他

(木島企画部長)

- ・28日の有識者会議に向け、効果検証及び改訂(案)について、改めて担当課にてご確認いただきたい。
- ・その他「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長について」、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.5に基づき説明

(木島企画部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(本部長)

- ・総合戦略と国の地方創生交付金はリンクしていて、総合戦略がないと交付金をもらえないので、統合までの空きは延長するという認識でよろしいか。

(木島企画部長)

- ・地方創生交付金の今後についても、これから国から示されることとなる。それに対応できるように、総合戦略は延長を図り、その後総合計画へ統合する。統合しても、今後地方創生に関する事業が出てきた際、交付金の対象とできる。
- ・本日の議事を受け、効果検証及び改訂（案）について、修正等があれば 11 月 14 日（水）までに企画政策課へ連絡してほしい。

5 閉会

（平林副市長）

- ・本日の結果を受け、28 日の有識者会議にて効果検証の結果を報告する。
- ・総合戦略を作るころ、KPI という言葉も初めて耳にしたかと思う。国は、地方創生というバックボーンがあってそれに向かって計画を作り、その計画を作らないと補助金もあげない、といったようにすべての仕組みがそうってきた。
- ・根幹となる計画を作り、様々な分野で数値目標を定め、それに向かって取り組み、効果を検証する。目標値の設定の仕方など課題はあるが、その方法が全庁的にも浸透してきた。今後、それが定番の流れになると感じている。
- ・以前は、出生数は 500 人ベースで保育園などに関わる政策を考えてきた。それが今では 400 人に減り、ついに 300 人台となった。また、総合戦略策定当時は不景気で仕事がなかったが、今では仕事はあるのに働き手がいないという状況となった。社会はすぐに変化する、行政として何ができるのか、時代に対応していくのが行政の仕事である。